

ポストSaaS時代のフロントランナー ブロードリーフ

「ブリッジサロン」投資家向けIRセミナー

2025年9月27日

株式会社ブロードリーフ
東証プライム 3673



自己紹介

建設産業のIT導入を牽引したのち、モビリティ産業のDXを推進中



代表取締役社長
大山 堅司

1968年9月生まれ
鹿児島県出身

建設産業

- 1987年04月 ビーイング（土木工事積算ソフトの開発会社）設立に参画
- 1996年12月 米シリコンバレーにBeing Investment Corpを設立
CEOに就任
- 1999年10月 ビーイングが東証JASDAQに上場※1
- 2000年07月 ビーイングの取締役副社長に就任

※1 2021年06月、MBOにより株式非公開化

モビリティ産業

- 2005年10月 アイ・ティー・エックスの顧問に就任
ITX翼ネット（現ブロードリーフ）の創業を支援
- 2006年01月 ブロードリーフ取締役副社長に就任
- 2006年06月 ブロードリーフ代表取締役社長に就任（現任）
- 2013年03月 ブロードリーフが東証1部に上場※2

※2 2022年04月、東証プライムに移行

目次

- ① イン트로ダクション P 4
- ② SaaSはなくなる！？ P 8
- ③ ブロードリーフの特長 P14
- ④ 株価の考察 P19
- ⑤ ご参考 P25

① イン트로ダクション

② SaaSはなくなる！？

③ ブロードリーフの特長

④ 株価の考察

⑤ ご参考

ブロードリーフは「知る人ぞ知る」SaaS銘柄

SaaS (Software as a Service)

クラウド環境下にあるアプリケーションソフトをWeb経由で利用する形態であり、一般的に月額課金（サブスクリプション）で提供される

事業の実績

SaaS売上予想は**110億円**
(前年比+44%)

SaaS売上実績は**76億円**

主力ソフトを全面刷新
SaaSとして展開開始

2026

2025

2024

2022

2013

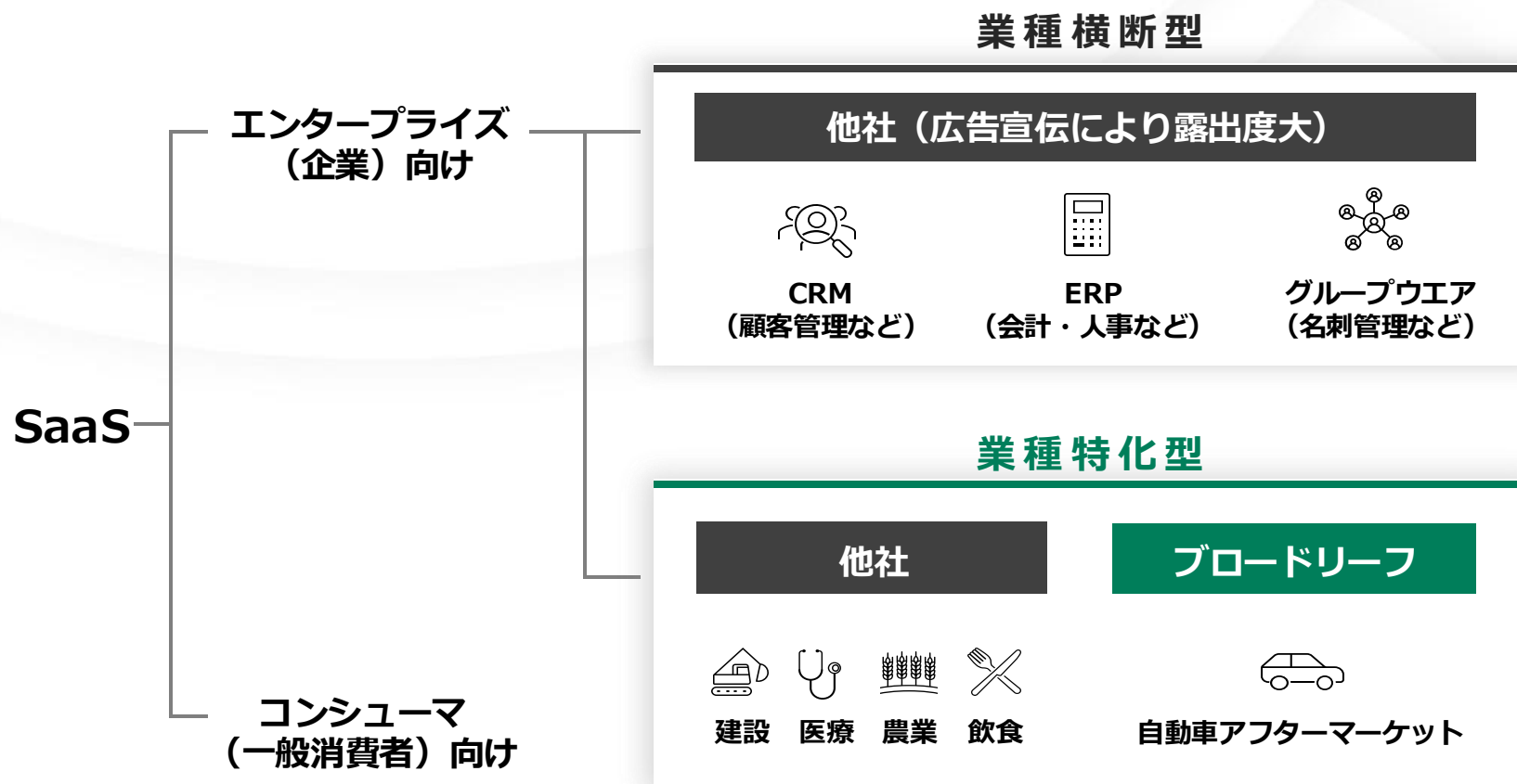
SaaS銘柄としての認知が
拡大、浸透！

2013年の東証上場以来、
パッケージソフト銘柄として認知

株式市場での認知

「知る人ぞ知る」存在にとどまっていた2つの理由 ①

その01 業種特化型ソフトのため、会社の知名度が低い



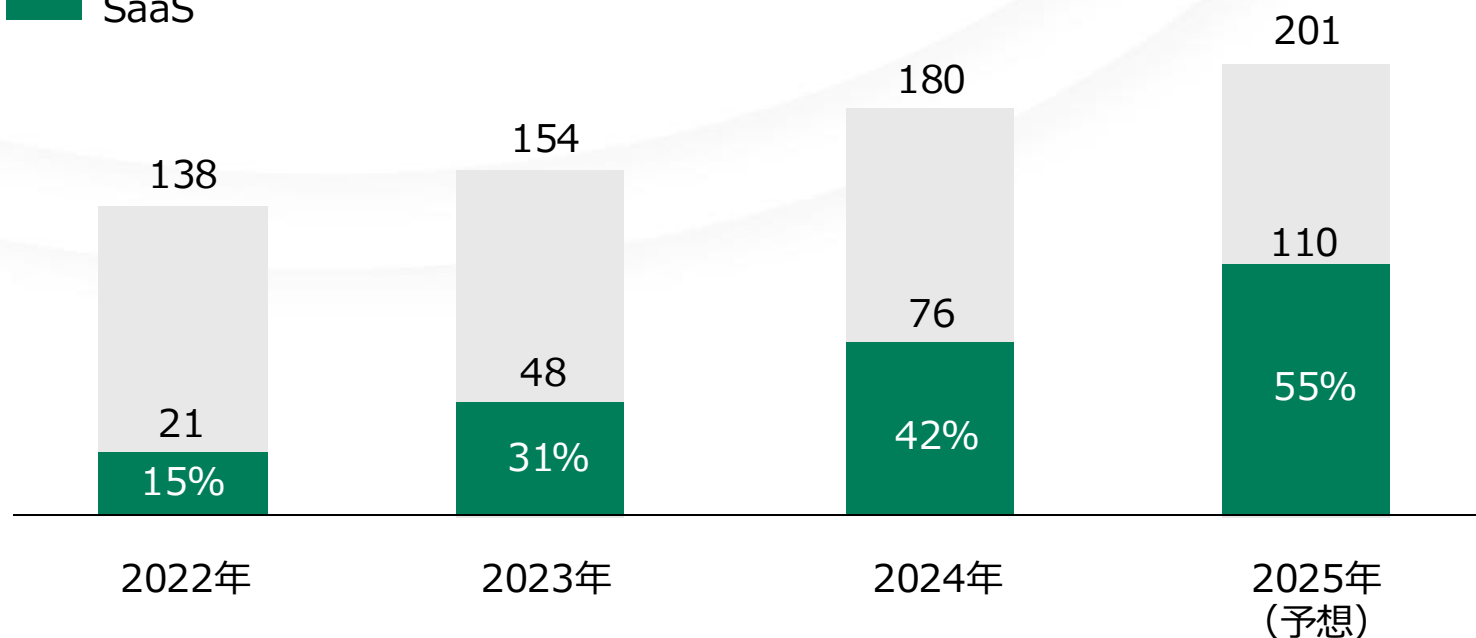
「知る人ぞ知る」存在にとどまっていた2つの理由 ②

その02 売上の過半が、非SaaSである旧来型パッケージソフトウェア

連結売上高（億円）

■ 非SaaS

■ SaaS



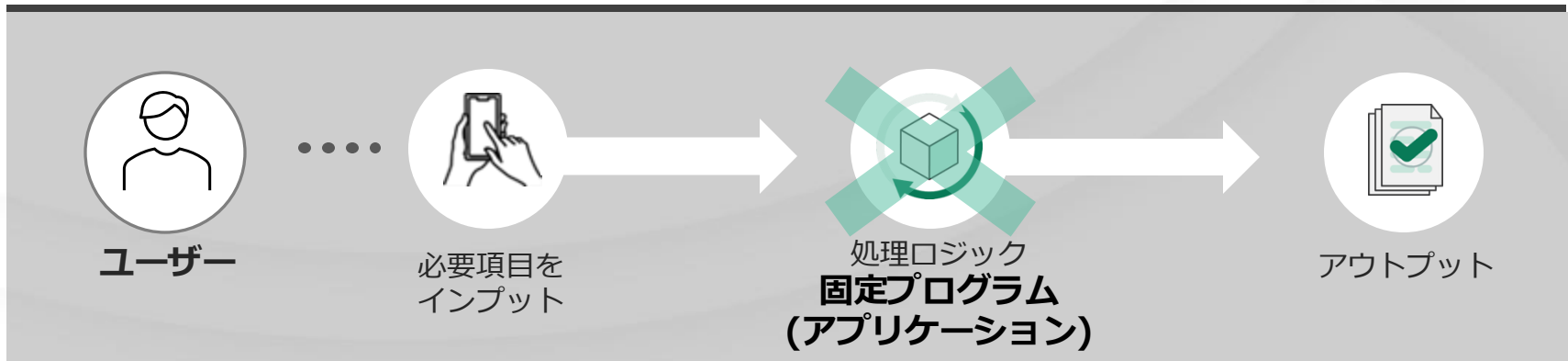
➡ 2025年にはSaaS売上の構成比率が**50%超**となる見込み

- ① イン트로ダクション
- ② **SaaSはなくなる！？**
- ③ ブロードリーフの特長
- ④ 株価の考察
- ⑤ ご参考

AIの進化がSaaSビジネスに与える変化

アプリケーションがAIに置き変わる = 固定プログラムは不要に？

旧 来



将 来



SaaSはAIに代替されるのか？

展開しやすさを背景に業種横断型が先行したが、**AI代替も起きやすい？**

業種横断型SaaS



CRM
(顧客管理など)



ERP
(会計・人事など)



グループウェア
(名刺管理など)

業種特化型は専門性が高く**AIに代替されにくいものの、時間の問題？**

業種特化型SaaS



建設



医療



農業

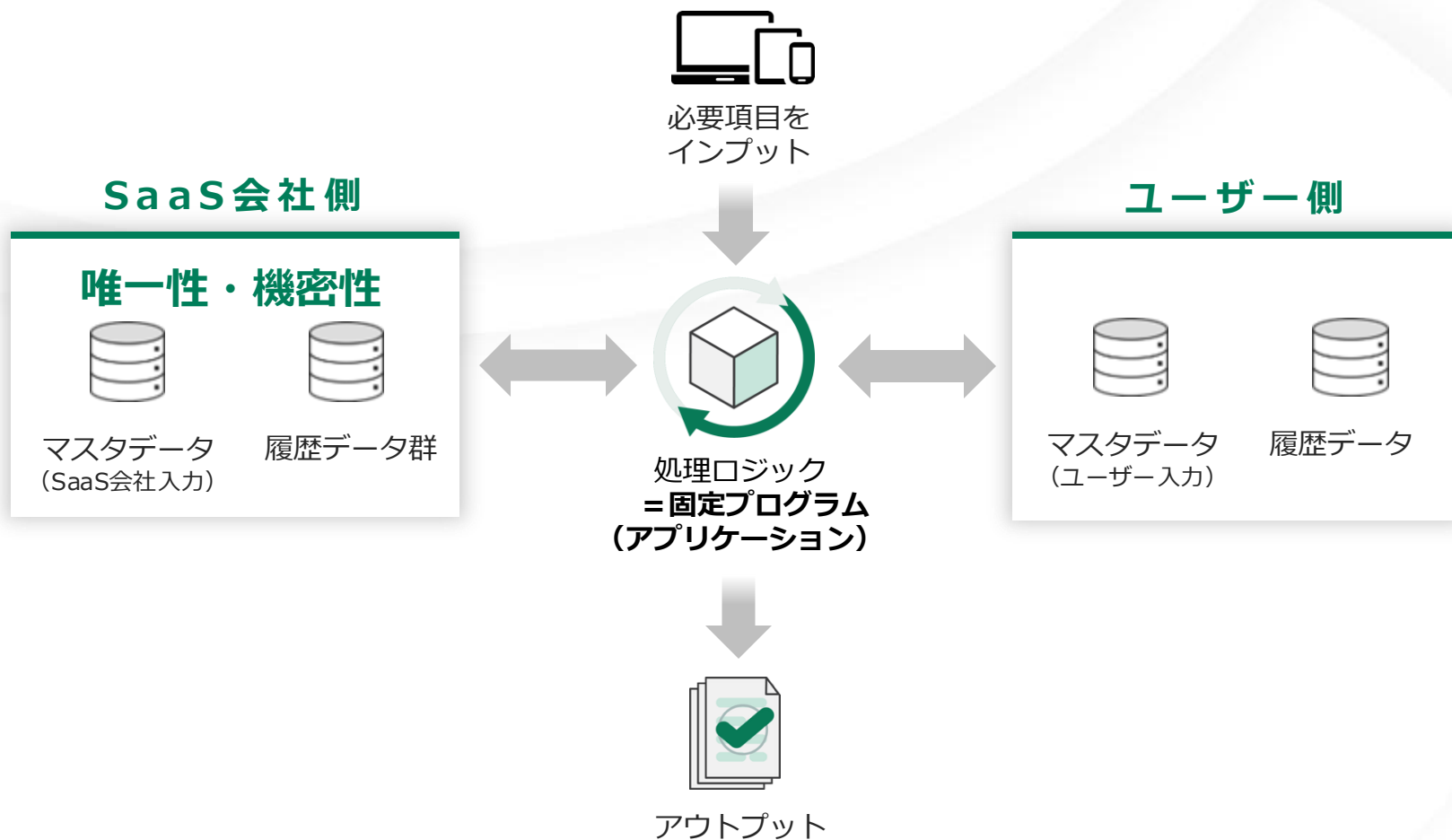


飲食

...

AIが代替できないSaaSは残る！

処理ロジックに用いるデータをユーザー側で揃えられない構成のSaaSは、
AIによるアプリケーションの代替は基本的に不可能



現在



将来

- 1 なくなる**
ソフトがビジネス的価値を喪失
- 2 SaaS会社として存続**
ソフトがビジネス的価値を維持
- 3 AI関連サービスをソフトに代えて展開**
AI as a Service



→ 業種特化型のAIサービスに対する
新たな需要の創出

- ① インTRODクシヨN
- ② SaaSはなくなる！？
- ③ ブロードリーフの特長**
- ④ 株価の考察
- ⑤ ご参考

唯一かつ機密性の高いデータ資産を保有

ビジネス価値が今後も減価・喪失しないSaaSモデルを展開中

ブロードリーフ側

唯一性

機密性

長期間

クルマ関連マスターデータ

整備作業の流れに沿って、
部品間の関係情報を体系化



品番（純正/OEM/優良）
732万件以上

部品情報

価格
2億4,824万点以上 他

...



必要項目を
インプット



独自AIによる
クローズドな活用



処理ロジック
= 固定プログラム
(アプリケーション)



アウトプット

ユーザー側



マスターデータ
(ユーザー入力)



履歴データ

ブロードリーフは、ポストSaaS時代のフロントランナー

SaaSだけでなく、モビリティ産業に関わる多様なプレイヤーに向けたプラットフォームサービスの強化やAIサービスを推進中

展開中



業種特化型
SaaS*

推進中

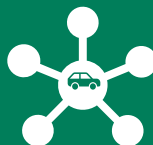


業種特化型
AIサービス*

2DX

Digital Transformation
&
Data Exchanger

強化中

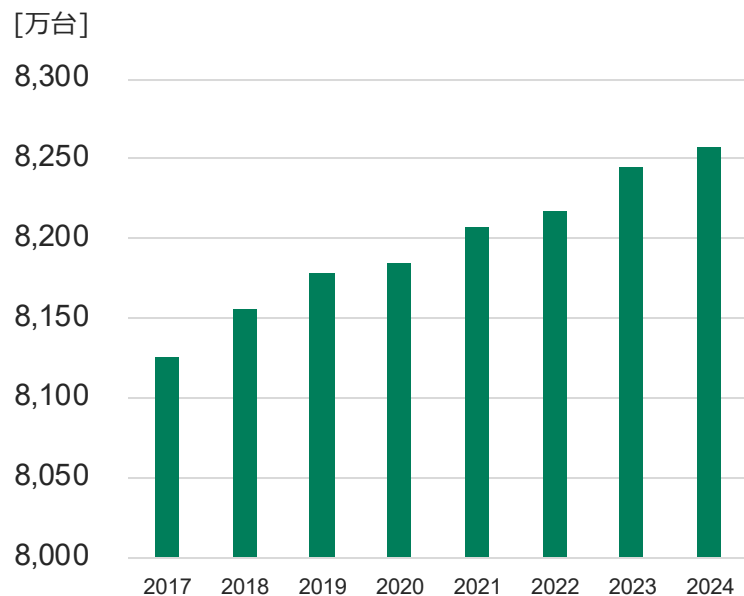


モビリティ業界の
ネットワーク
(プラットフォーム)

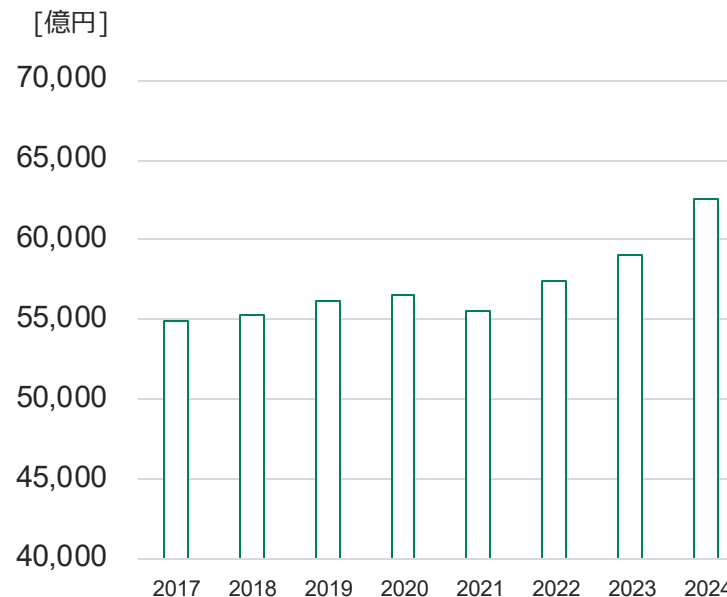
事業環境（お客様産業の動向）

主要なユーザー業種は右肩上がりの事業トレンドが継続中
物流や移動需要の増加、自動車の進化やモビリティの多様化が背景

国内自動車（軽含む）保有台数



総整備売上高



（出所）一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会

- ① インTRODクシヨン
- ② SaaSはなくなる！？
- ③ ブロードリーフの特長
- ④ 株価の考察**
- ⑤ ご参考

短期～中期

先行者利益が享受できる会社か？

- ・ 本当に市場はあるのか
- ・ 計画通りにユーザーが獲得できているか
- ・ ソフトはコモディティ化していないか



中期～長期

残存者利益が享受できる会社か？

- ・ ソフトはAI（特に汎用の生成AI）に代替されないか
- ・ ユーザーをネットワーク化できているか
- ・ ポストSaaS時代に備えた戦略を始めているか



SaaS銘柄の選別が始まる！？

株式時価総額が1,000億円以上の主なSaaS銘柄

会社名	株式時価総額	PBR	前期連結業績		今期連結業績予想		来期連結業績予想		
	(9月22日)		売上高	当期利益	売上高	当期利益	売上高	当期利益	利益率
(株) ラクス	4,874	22.52倍	489	80	596	118	620	120	19.4%
(株) マネーフォワード	3,387	9.34倍	404	63	520	-51	630	5	0.8%
Sansan (株)	2,469	16.49倍	432	4	535	43	650	80	12.3%
フリー (株)	2,171	11.05倍	333	14	415	9	510	22	4.3%
サイボウズ (株)	1,815	11.13倍	297	36	372	63	410	73	17.8%
Appier Group (株)	1,672	5.14倍	341	29	455	36	585	54	9.2%
(株) エス・エム・エス	1,429	3.08倍	610	61	675	70	745	80	10.7%
(株) ブロードリーフ	735	2.87倍	180	3	201	10	235	32	13.6%
うちSaaS売上＊			76		110		147		

(注) 単位は億円 (四捨五入)
予想は会社四季報2025年秋号

＊うちSaaS売上
当期予想は8月6日公表の予想値
来期予想は2月7日公表の計画値

連結業績計画

中期経営計画（2022-2028）の最重要施策は、
旧来型パッケージソフトユーザーのSaaS移行（2028年末に完了させる計画）

	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年
売上収益	138	154	180	201	235	275	315
うちSaaS売上	21	48	76	110	147	189	233
営業利益	-29	-19	7	16	48	90	130
親会社の所有者に 帰属する当期利益	-24	-15	3	10	32	60	80
当期利益率	-	-	1.9%	5.0%	13.6%	21.8%	25.4%

（注）単位は億円（四捨五入）
2025年は8月6日公表の予想値
2026年以降は2月7日公表の計画値

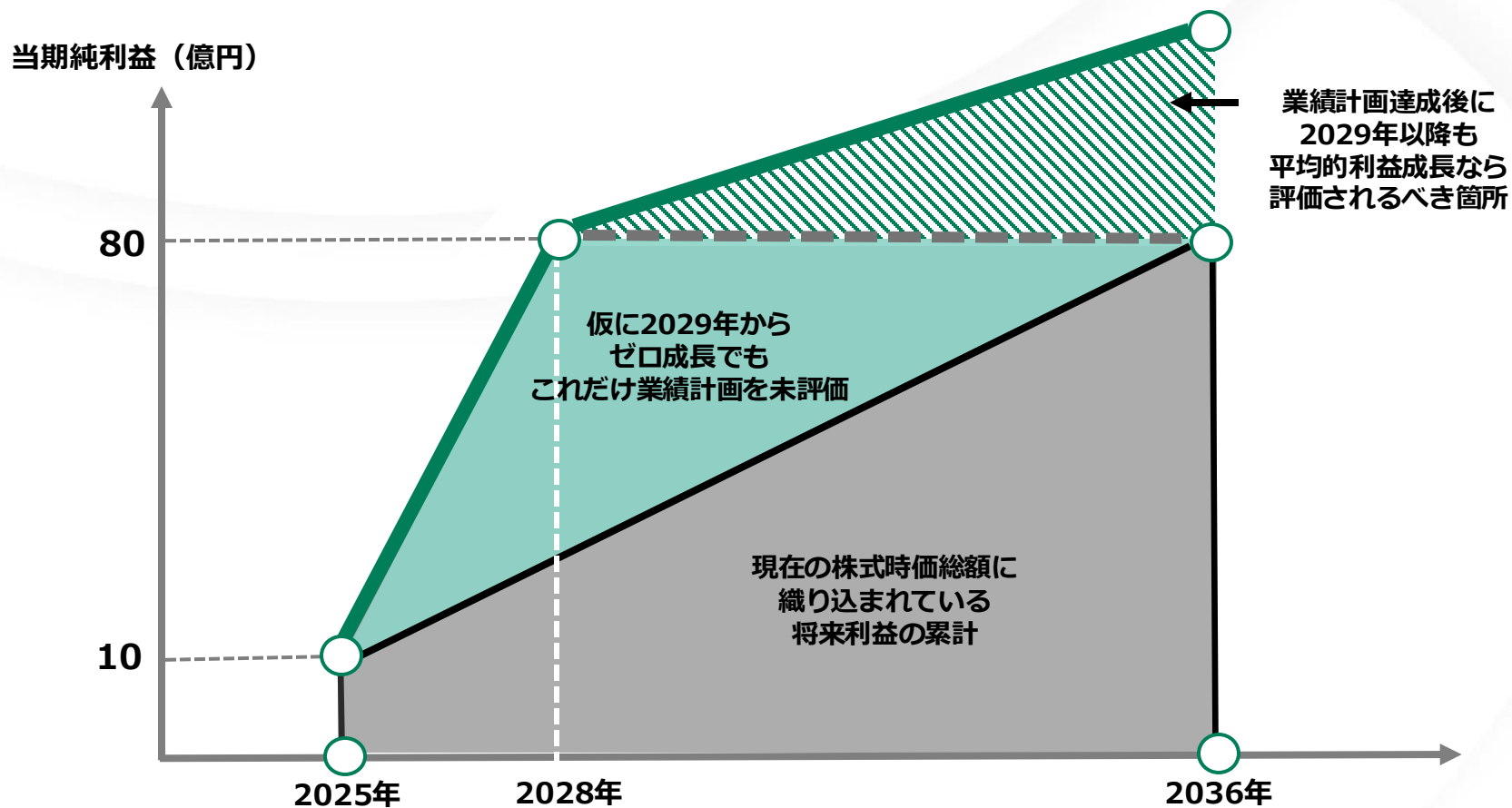
株価の考察「業績計画をどれだけ織り込んでいるか」

株価モデル

株式時価総額 = 現在の株主資本 + 将来利益の累計

$$735\text{億円} = 235\text{億円} + 500\text{億円}$$

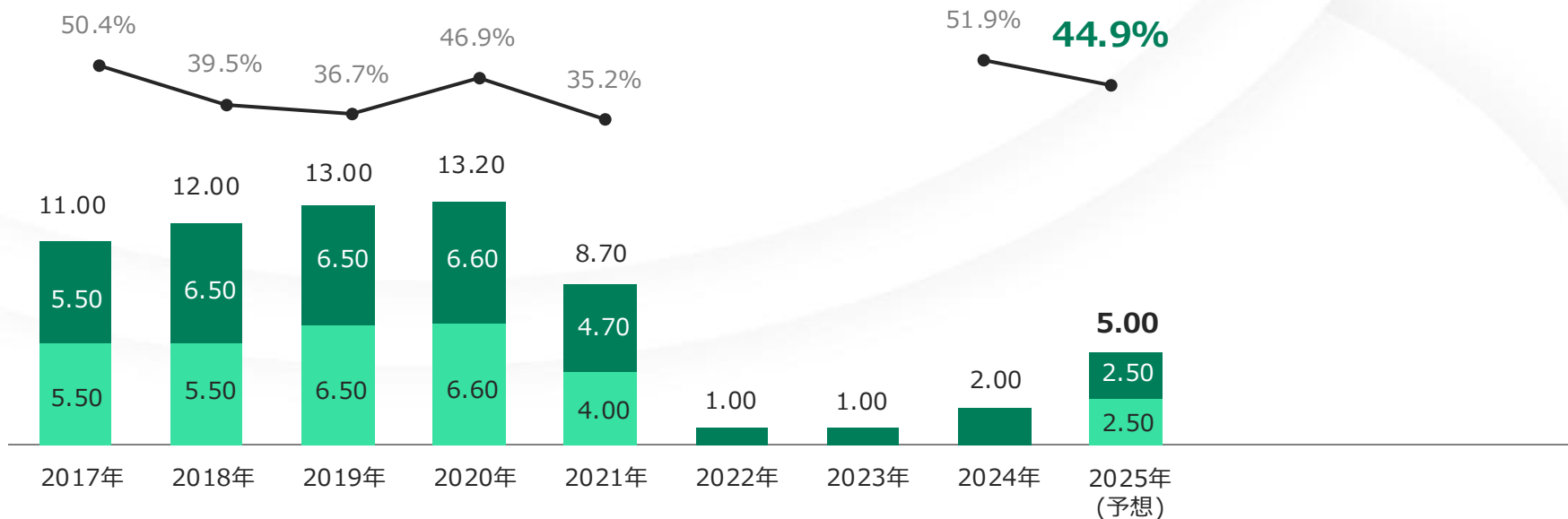
(前提) 株式時価総額に織り込まれている将来の利益は12年間分かつ定率成長



配当実績と予想

(円)

■ 中間 ■ 期末 —●— 配当性向



- ① イン트로ダクション
- ② SaaSはなくなる！？
- ③ ブロードリーフの特長
- ④ 株価の考察
- ⑤ ご参考**

ご参考① 会社概要

会社名	株式会社ブロードリーフ
創業/設立	2005年12月/2009年9月
本社所在地	東京都品川区東品川四丁目13-14 グラスキューブ品川 8階
国内拠点	全国 営業26拠点 開発3拠点
従業員数	920名（2024年12月末時点連結）
代表者	代表取締役社長 大山 堅司
証券コード	東京証券取引所 プライム市場（3673）
単位株式数	100株
資本金	7,148百万円（連結）
決算期	12月期決算
監査法人	あずさ監査法人
主な子会社	株式会社タジマ、SALES GO株式会社

感謝と喜び

ブロードリーフは『感謝と喜び』という人や企業が深く結びつくために欠かせない“心”を大切に、お客さまとともに繁栄するビジネスを進めています。

私たちの商品やサービスがお客さまの事業に貢献する時、お客さまに「ブロードリーフとつきあって、よかった」と感じていただけるでしょう。
そして事業が日々成長する実感に喜びが生まれることでしょう。

そのようなお客さまの心を受けて私たちにも『感謝と喜び』が生まれ、よりよい商品やサービス、社会への価値提供につながっていきます。

企業理念

『感謝と喜び』の心を根本に、幅広い業種・業界に特化した業務アプリケーションを開発し、より良い製品・サービスを提供することにより、お客さまの事業創造に貢献いたします。

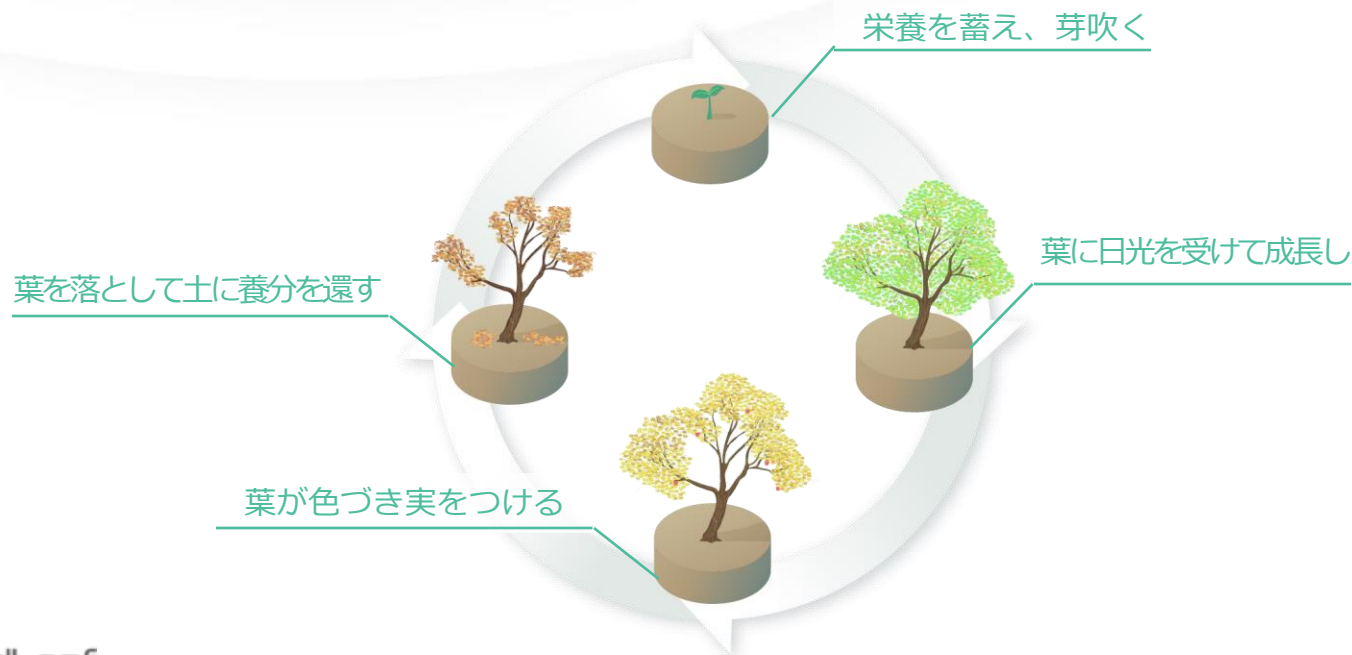
ブロードリーフ（Broadleaf）とは広葉樹のことです

広葉樹の多くは春から夏にかけて葉に日差しを受けて成長し、冬には葉と実を落として土に養分を返します。

その循環がさまざまな動植物と共生できるフィールドを育むのです。

ビジネスの大地に一本の広葉樹として根をおろし、葉を茂らせ、実をつけ、お客さまをはじめとするすべての人々とともに未来へと成長を続けたい。

ブロードリーフという名にはそのような気持ちが込められています。



免責事項

本資料に記載されている業績予想および将来の予測等に関する記述は、資料作成時点での入手された情報に基づき当社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

したがって、実際の業績はさまざまな要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

お問い合わせ先

株式会社ブロードリーフ
インベスターリレーションズ室
✉ bl-ir@broadleaf.co.jp

